

科学技術連携施策群の成果 及び今後の見通し (中間報告案 概要)

平成18年11月2日

第2回分野別推進戦略総合PT

・ 科学技術連携施策群とは

- **科学技術連携施策群(連携施策群)の特色**

国家的・社会的に重要で、府省連携して推進すべき**テーマを設定**(8つの連携施策群を決定)

府省施策の重複排除と連携を強化するため、各群に**WG及びコーディネーターを設置**

連携施策群の中で、欠落している重要課題を抽出し、研究等を実施(**補完的課題の実施**)

- **平成17年度7月から活動開始**

科学技術連携施策群

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、科学技術連携施策群として積極的に推進
(総合科学技術会議決定 平成16年7月23日)

【目標、主な関係府省】

ポストゲノム
- 健康科学の
推進 -

テイラーメイド医療やゲノム創薬、予防医学などの確立を目指す

文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省

新興・再興
感染症

新興・再興感染症から国民の安心・
安全を守る研究体制の確立を図る

内閣府、文部科学省、厚生労働省、
農林水産省

ユビキタス
ネットワーク
- 電子タグ技術
等の展開 -

ユビキタスネットワーク社会実現の
上で中核的な技術基盤の確立を図る

総務省、文部科学省、経済産業省、
国土交通省

次世代
ロボット
- 共通プラット
フォーム技術
の確立 -

次世代ロボットのさまざまな応用分野
に共通のプラットフォーム技術の確立を図る

総務省、文部科学省、国土交通省
経済産業省、農林水産省

【目標、主な関係府省】

バイオマス
利活用

バイオマス利用、燃料転換等の技術
開発により循環型社会形成を目指す

総務省、文部科学省、農林水産省、
経済産業省、国土交通省、環境省

水素利用/
燃料電池

水素エネルギー社会実現のため水素
利用、燃料電池技術の確立を目指す

総務省、文部科学省、経済産業省、
国土交通省、環境省

ナノバイオ
テクノロジー

ナノとバイオの融合領域研究により健康
寿命延伸等安心安全な社会を目指す

文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省、環境省

地域科学技術
クラスター

地域における革新技术・新産業創出を
通じた地域経済の活性化を図る

内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

・ 科学技術連携施策群の成果

これまでの取組より、以下の成果が得られつつある。

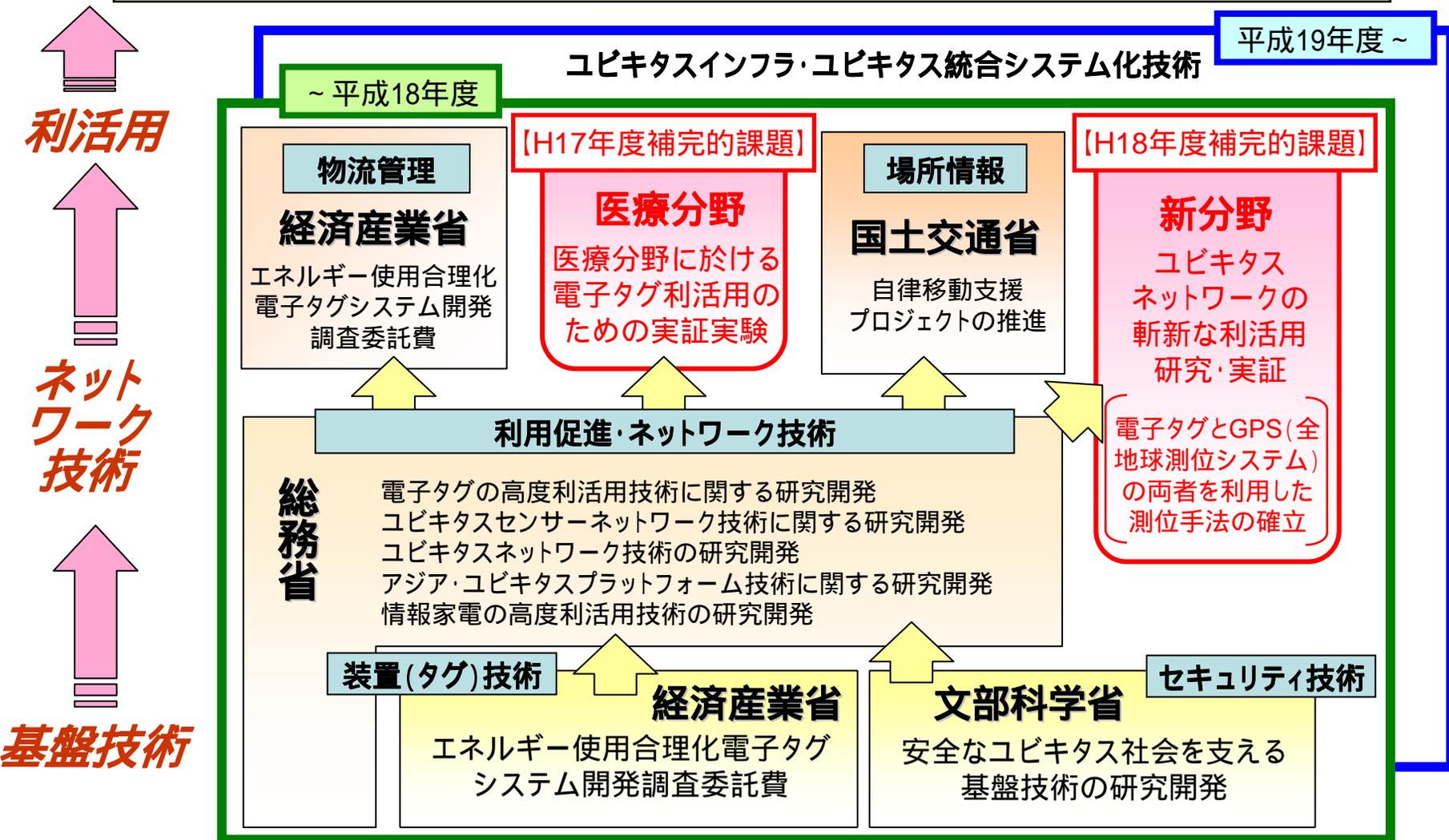
1. 府省施策の**重複の排除**
2. 府省間の**連携強化**による成果
3. **補完的課題**の実施による成果

－ 1 . 府省施策の重複の排除

不必要な重複を排除するシステムの確立

- ・ 各連携施策群毎に**WG**を設置(コーディネーターを配置)
- ・ 府省施策の**全体俯瞰図**の作成によるチェック

ユビキタス創造的生活支援基盤の確立



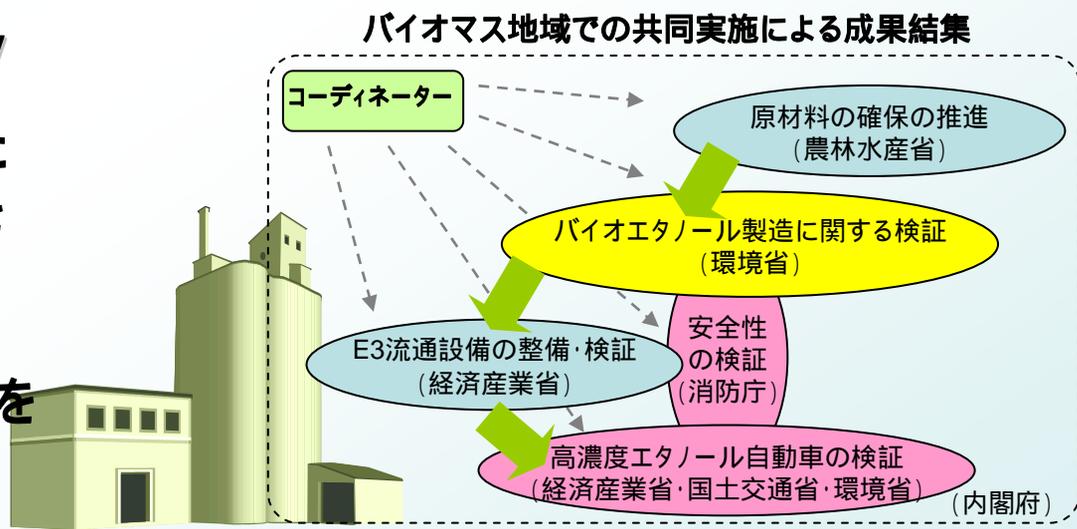
－ 2 . 府省間の連携強化による成果

所掌を越えた広い視点で、目標が共有され、

- ・ **役割分担**の明確化、
 - ・ **成果の相互活用**、
- が進み、**研究と価値創造が加速化**

(例) バイオマス利活用

各省が個別に対応していたバイオマス利活用の施策を統合し、車両の燃料用バイオエタノールの**生産から利用まで**の一貫したシステムを構築



- 3 . 補完的課題の実施による成果

個々の府省では対応しにくかった**共通の研究基盤整備**を行い、**成果を創出**

全体俯瞰図をもとに、**欠落していた重要研究課題**を抽出し、**研究全体を推進**

補完的課題として、
H17より11課題、H18よりさらに7課題を実施中

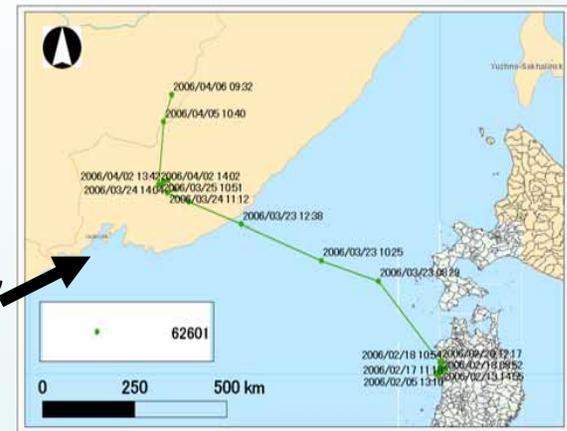
(例1)「**生命科学データベース統合に関する調査研究**」(ポストゲノム)
文科省、厚労省、農水省、経産省

生命科学関係のデータベースの統合に関する課題を抽出し、
生命科学の研究開発基盤の強化に貢献する

(例2)「**ウイルス伝播に関与する野鳥の飛来ルートの調査とそれら野鳥における病原体調査及びデータベース構築**」(新興・再興感染症)
文科省、厚労省、農水省

ウイルス伝播に関する野鳥の飛来ルート等を解明し、我が国の感染症対策に貢献する

発信器を装着した野鳥(ミヤマガラス)の移動経路



今後の課題と進め方

1. 課題

- ・ 研究開発から利用までの一貫した連携強化
- ・ 府省だけでなく民間を含めた情報の共有
- ・ 今回の連携施策群制度の検証に基づく本制度の更なる活用

2. 今後の進め方

- ・ 産学官連携を本格化するためのシンポジウム等の開催
(産学官プラットフォームの形成)
- ・ 連携施策群の手法を活用し、分野別推進戦略の効果的な推進のため、戦略重点科学技術に拡大
- ・ その際、予算の効率的な活用に配慮しながら、連携効果、イノベーション創出の加速化等の観点から、対象となる戦略重点科学技術を選択し、集中的に推進
補完的課題は、共通の研究基盤整備の観点を重視